

5 経済発展を目指す東南アジア

○東南アジアの国々の特徴

マレーシアやシンガポール:マレー系の人々や、中国・インドから移り住んだ人々などが暮らす

→特に(**華人** *)と呼ばれる人々は、流通業やさまざまな分野で活躍

※(**華人**)とは、国外へ移住し、その国の国籍を取得して暮らす中国系の人々のこと

○稲作の伝統と輸出用の作物生産

東南アジアの農業

季節風による降水を利用し、稲作が盛ん

→一年を通して気温が高く、(**二期作** ***)が行われている地域もある

※(**二期作**)とは、一年の間に同じ耕地で同じ農作物を2回つくること

例) タイやベトナムは世界有数の米の輸出国

(**プランテーション** **)で輸出用の作物を生産

※(**プランテーション**)とは、熱帯地域にみられる大規模な農園のこと。植民地時代に欧米人によって

開かれた農園で多数の労働者を雇い、輸出を目的とした作物を大量に栽培

例) (**天然ゴム** *)や油やし、バナナ、コーヒーなど

マングローブを切り開いた養殖池で、輸出用のエビの生産

○工業化の波とASEAN

シンガポールやマレーシア、タイで工業が発展

→製品を輸出することを目的に(**工業団地**)をつくり、外国企業を招くことで工業化を進める

(**東南アジア諸国連合(ASEAN)** **)では、加盟国間の貿易や人の交流が活発になる

→日本や中国、韓国などとの関係を深め、インドやオーストラリアとの貿易により経済発展を目指す

※(**東南アジア諸国連合(ASEAN)**)とは、東南アジア地域の安定を目指して結成された組織のこと。

1967年に結成され、現在(2020年)では10か国が加盟

○都市化とその課題

都市部の発展:農村から都市へと多くの人々が移住

〔移住者のなかには都市で安定した仕事に就けず、(**スラム**)に住む人々も多い
人口が集中した都市で、交通渋滞や排ガスによる大気汚染が発生